WEL

りん銅ろう

12

りん銅ろう

りん銅ろう（JIS Z 3264）

りん銅ろうは、主として銅及び銅合金（黄銅、りん青銅、洋白、特殊アルミ青銅等）、一部特殊な用途として銀、タングステン、モリブデンに用いられます。しかし、鉄、ステンレス鋼、ニッケル及び高ニッケル合金のろう付にはリンをふくんでいるので使用出来ません。

りん銅ろうの特性

1. 銅と銅のろう付はフラックスが不要です。但し、銅合金の場合にはフラックスが必要。
2. 液相線以下の温度でろう付が出来ます。
3. 溶融温度が低く、流動性、浸透性に富んでいます。
4. 電気及び熱伝導性が優れている。
5. 出来る丈低い温度でろう付する事が望ましい。
6. ろう付作業では急速加熱が大切です。
7. 銀ろうに比較してコスト面で経済的です。

りん銅ろう用途

各種熱交換器（自動車、船舶、発動機等）、冷暖房器、ガス湯沸器、風呂釜類、電気製品各種

りん銅ろう規格

種類（記号）	化学成分（%）				参考値		
	P	Ag	その他(1)の元素の合計	Cu	固相線温度（℃）	液相線温度（℃）	ろう付温度（℃）
BCuP-2	6.8～7.5	—	0.2以下	残部	約710	約795	735～845
BCuP-3	5.8～6.7	4.8～5.2	0.2以下	残部	約645	約815	720～815
BCuP-4	6.8～7.7	5.8～6.2	0.2以下	残部	約645	約720	690～790
BCuP-5	4.8～5.3	14.5～15.5	0.2以下	残部	約645	約800	705～815
BCuP-6	6.8～7.2	1.8～2.2	0.2以下	残部	約645	約790	730～815

注（1）　その他の元素とはPb、Sn、Feをいう。